

令和3年度下半期下水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

良好な下水道サービスを提供するため、昨年度に引き続き、下水道未普及地域の解消、老朽化した下水道管やポンプ場設備の更新、浸水対策の推進に取り組みました。

管渠建設事業では、3,425,571,334円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに8,011.71m布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を8箇所実施しました。さらに、令和元年度から令和3年度の3カ年継続事業である東川口駅周辺浸水対策事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、710,581,027円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管2,793.70mを布設替しました。

ポンプ場建設改良事業では、404,266,500円を投じ、中央橋中継ポンプ場他5カ所監視装置更新工事のほか、元郷排水ポンプ場補助継電器盤更新工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における下水道使用料の決算額は6,486,120,136円で、予算現額6,468,968,000円に対し執行率100.3%、他会計負担金は1,990,389,020円で、予算現額2,051,202,000円に対し執行率97.0%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、国庫補助金等を加えた収入総額は11,542,800,125円で、予算現額11,575,393,000円に対し執行率99.7%となりました。

一方、収益的支出の決算額は9,704,973,210円で、予算現額10,335,902,000円に対し93.9%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用8,974,035,156円、企業債の支払利息723,976,728円、特別損失6,491,099円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,837,826,915円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債3,487,000,000円、他会計出資金865,295,000円で、このほか、他会計補助金、国庫補助金等を加えた決算額は5,520,763,897円となり、予算現額6,209,947,000円に対し88.9%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は8,672,134,724円で、予算現額9,486,605,000円に対し91.4%の執行率となりました。内訳は、建設改良費5,022,734,109円、企業債償還金3,649,400,615円となっています。

3 排水状況

本年度末日の水洗化人口は503,594人で、前年度に比べ280人(0.1%)減、水洗化世帯数は250,137世帯で、前年度に比べ1,227世帯(0.5%)の増となっています。

年間総排水量は58,823,070[㎥]で、前年度に比べて3,180,542[㎥](5.1%)の減となり、有収水量は52,536,406[㎥]、有収率は89.31%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
下水道使用料	6,468,968,000	6,486,120,136	17,152,136	100.3
他会計負担金	2,051,202,000	1,990,389,020	△ 60,812,980	97.0
その他営業収益	2,613,000	2,769,200	156,200	106.0
他会計補助金	136,504,000	122,017,649	△ 14,486,351	89.4
国庫補助金	68,830,000	63,447,000	△ 5,383,000	92.2
長期前受金戻入	2,846,242,000	2,840,264,874	△ 5,977,126	99.8
消費税及び地方消費税還付金	0	34,217,650	34,217,650	—
雑収益	1,033,000	2,889,591	1,856,591	279.7
過年度損益修正益	1,000	41,990	40,990	4199.0
その他特別利益	0	643,015	643,015	—
計	11,575,393,000	11,542,800,125	△ 32,592,875	99.7

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
管渠費	655,936,000	618,411,880	37,524,120	94.3
ポンプ場費	760,385,000	710,170,135	50,214,865	93.4
普及促進費	132,814,000	110,297,764	22,516,236	83.0
業務費	344,848,000	340,296,794	4,551,206	98.7
総係費	236,371,000	181,357,352	55,013,648	76.7
流域下水道維持管理費負担金	2,523,660,000	2,162,385,146	361,274,854	85.7
減価償却費	4,850,555,000	4,834,128,705	16,426,295	99.7
資産減耗費	7,976,000	16,987,380	△ 9,011,380	213.0
支払利息	758,697,000	723,976,728	34,720,272	95.4
消費税及び地方消費税	29,933,000	0	29,933,000	0.0
雑支出	164,000	470,227	△ 306,227	286.7
固定資産売却損	0	535,284	△ 535,284	—
過年度損益修正損	4,563,000	5,955,815	△ 1,392,815	130.5
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.0
計	10,335,902,000	9,704,973,210	630,928,790	93.9

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	4,108,000,000	3,487,000,000	△ 621,000,000	84.9
他会計出資金	865,295,000	865,295,000	0	100.0
他会計補助金	135,822,000	135,821,137	△ 863	100.0
国庫補助金	1,100,830,000	1,020,088,000	△ 80,742,000	92.7
固定資産売却代金	0	3,209,760	3,209,760	—
受託工事収入	0	9,350,000	9,350,000	—
計	6,209,947,000	5,520,763,897	△ 689,183,103	88.9

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,837,204,000	5,022,734,109	814,469,891	86.0
企業債償還金	3,649,401,000	3,649,400,615	385	100.0
計	9,486,605,000	8,672,134,724	814,470,276	91.4

(消費税及び地方消費税込みで表示)

排水の状況

区分	A 令和3年度	B 令和2年度	C 差引 (A-B)	増減率 C/B (%)
水洗化人口 (人)	503,594	503,874	△ 280	△ 0.1
水洗化世帯数 (世帯)	250,137	248,910	1,227	0.5
総排水量 (m ³)	58,823,070	62,003,612	△ 3,180,542	△ 5.1
1日平均排水量 (m ³)	161,159	169,873	△ 8,714	△ 5.1

地方債現在高

令和4年3月31日現在

1 地方債

借入先	下水道会計
財政融資資金	千円 39,313,039
簡易生命保険資金	2,031,880
地方公共団体金融機構	11,787,147
市中銀行	721,391
合計	53,853,457

※市中銀行…埼玉りそな銀行、きらぼし銀行、川口信用金庫、青木信用金庫

令和4年度下水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市下水道事業は、「川口市下水道ビジョン」において、「安全で快適な暮らしを未来へつなぐ 川口の下水道」を理念として掲げています。

この理念を実現するため、令和4年度当初予算において、下水道未普及地域の解消、老朽化した管渠等の更新、浸水対策の推進のために必要な経費を計上し、今後も良好な下水道サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は11,587,866千円で、前年度に比べ12,473千円（0.1%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、下水道使用料が増加したことによるものです。

収益的支出の合計額は10,208,667千円で、前年度に比べ127,235千円（1.2%）の減となっています。減額の主な理由は、流域下水道維持管理費負担金が減少したことによるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は5,129,950千円で、内訳は、企業債3,484,700千円、他会計出資金781,700千円、他会計補助金148,678千円、国庫補助金669,389千円、固定資産売却代金9千円、受託工事収入45,474千円となっています。

資本的支出の合計額は8,586,333千円で、内訳は、建設改良費4,923,467千円、企業債償還金3,662,866千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,456,383千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額350,201千円、減債積立金1,110,000千円、過年度分損益勘定留保資金278,356千円、当年度分損益勘定留保資金1,717,826千円で補てんします。

3 汚水処理状況

令和4年度の総排水量は66,089,000 m³、有収水量は54,940,860 m³、予定有収率は83.13%を見込んでいます。